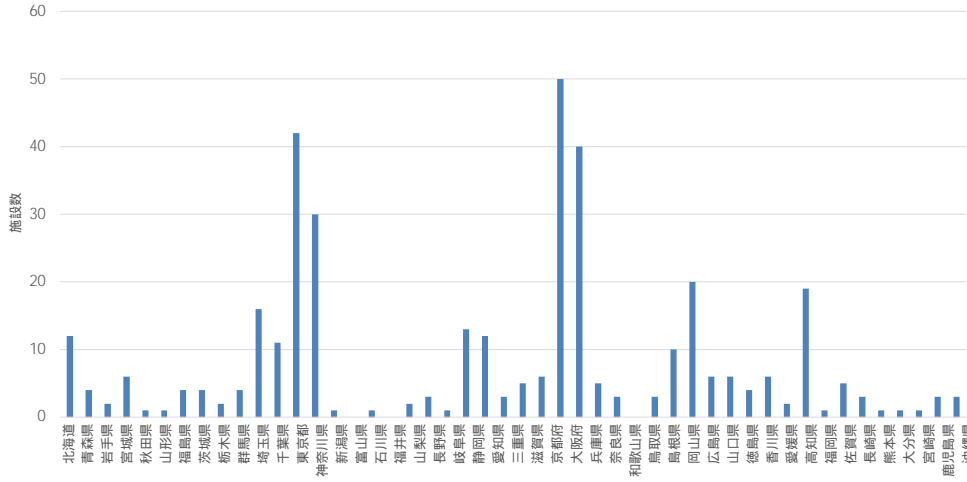
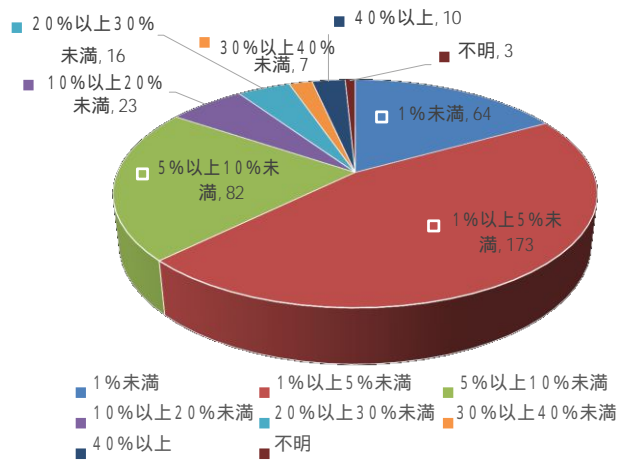


グラフ - 1 調査回答施設分布

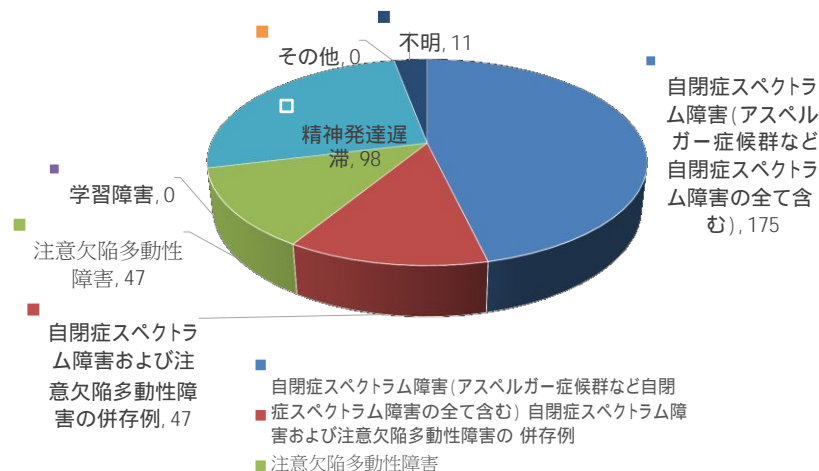
調査施設分布



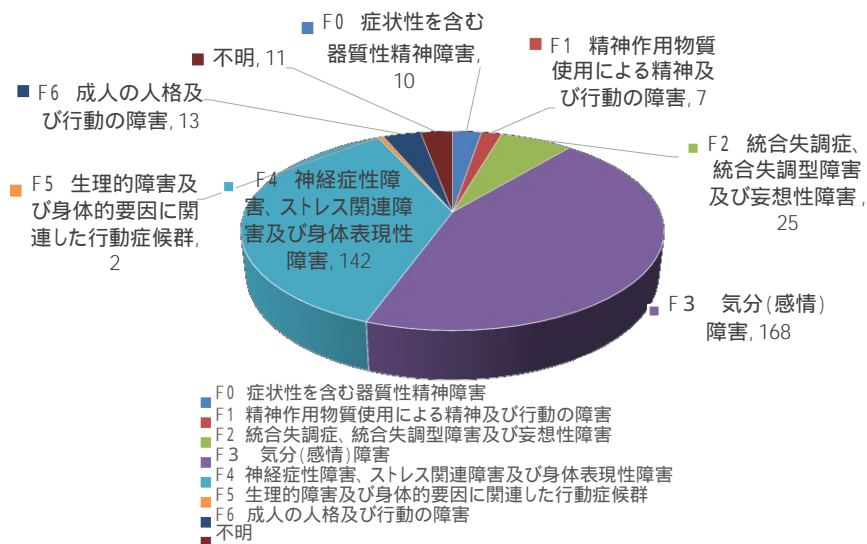
グラフ - 2 外来における発達障害患者



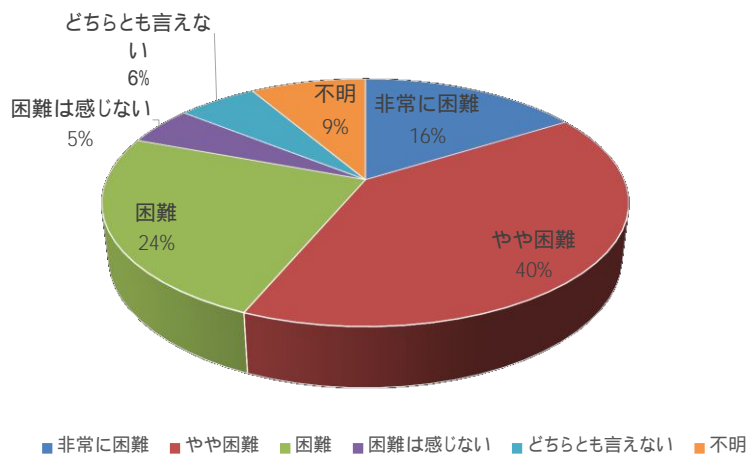
グラフ - 3 発達障害の種類



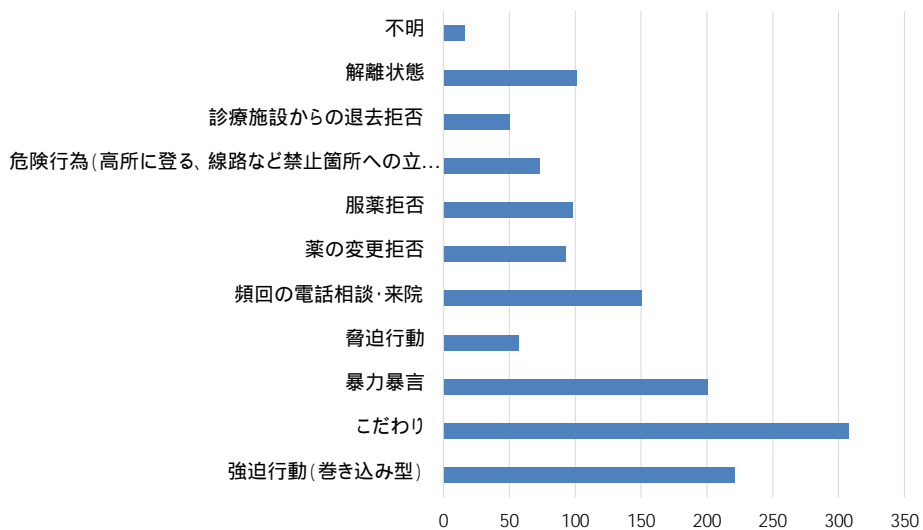
グラフ - 4 併存障害の種類



グラフ - 5 治療上の困難

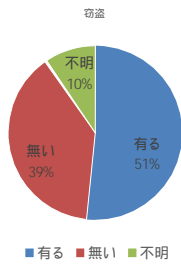


グラフ - 6 対応苦慮事例の内訳

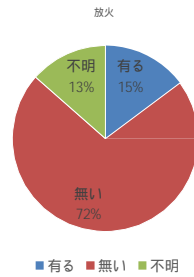


発達障害と関連する問題行動の経験の有無

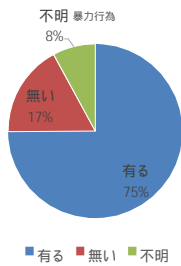
グラフ - 1 窃盗



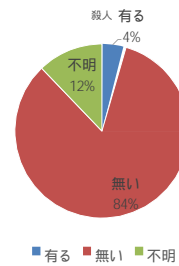
グラフ - 2 放火



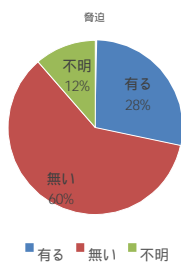
グラフ - 3 暴力行為



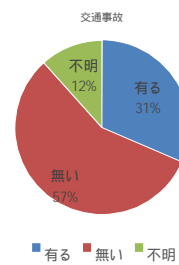
グラフ - 4 殺人



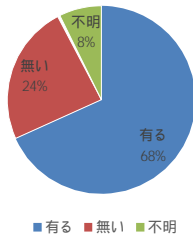
グラフ - 5 脅迫



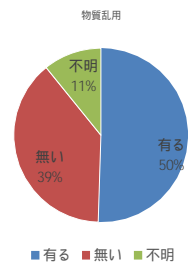
グラフ - 6 交通事故



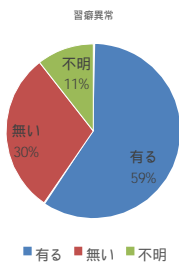
グラフ - 7 ネット・ゲーム依存



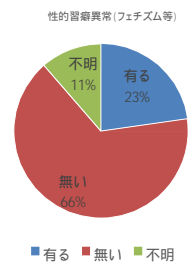
グラフ - 8 物質乱用



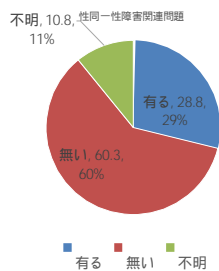
グラフ - 9 習癖異常



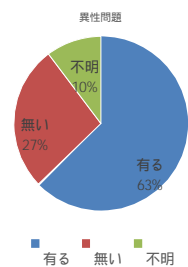
グラフ - 10 性的習癖異常(フェチズム等)



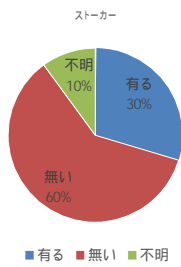
グラフ - 11 性同一性障害関連問題



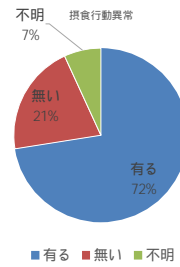
グラフ - 12 異性問題



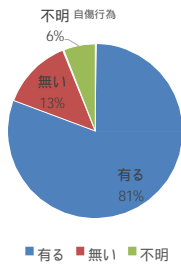
グラフ - 13 ストーカー



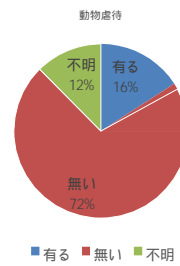
グラフ - 14 摂食行動異常



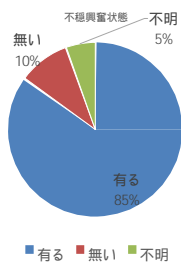
グラフ - 15 自傷行為



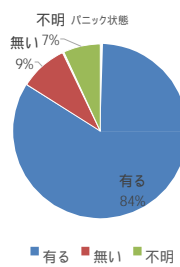
グラフ - 16 動物虐待



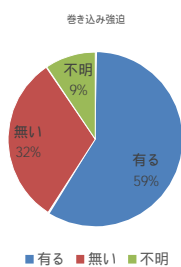
グラフ - 17 不穏興奮状態



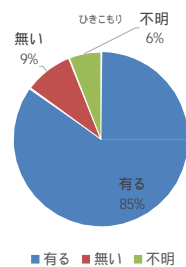
グラフ - 18 パニック状態



グラフ - 19 巻き込み強迫



グラフ - 20 ひきこもり



発達障害の問題行動への薬物療法の実態

表 - 1 発達障害の問題行動への薬物療法

順位	割合	薬物種類
1位	43.7%	非定型抗精神病薬
2位	13.8%	気分安定薬(抗てんかん薬を含む)
3位	11.4%	非中枢刺激 ADHD 治療薬
4位	11.1%	抗うつ薬(SSRI・SNRI を含む)
5位	8.5%	抗不安薬

表 - 2 発達障害の問題 行動への薬物療法

No. 組み合わせ	n	%
1 非定型抗精神病薬 - 気分安定薬	89	23.5
2 非定型抗精神病薬 - 抗うつ薬	30	7.9
3 非定型抗精神病薬 - 抗不安薬 or 漢方薬	25	6.6
4 気分安定薬 - 非定型抗精神病薬	21	5.6
5 抗うつ薬 - 気分安定薬	15	4.0
6 非中枢刺激 ADHD 治療薬 - 抗うつ薬	15	4.0
7 非中枢刺激 ADHD 治療薬 - 非定型抗精神病薬	14	3.7
8 非定型抗精神病薬 - 非中枢刺激 ADHD 治療薬	12	3.2
9 抗うつ薬 - 抗不安薬 or 漢方薬	10	2.6
10 気分安定薬 - 抗不安薬 or 漢方薬	10	2.6

表 - 3 非定型精神病 薬の中での使用順位

順位	割合	薬物種類
1位	39.4%	リスペリドン
2位	24.3%	アルピプラゾール
3位	15.1%	オランザピン
4位	10.3%	クエチアピン
5位	1.9%	プロナセリン

表 - 4

ADHD 治療薬の中での 使用順位

順位と%		
1位	59%	非中枢刺激薬
2位	17.2%	中枢刺激薬

グラフ 対応の在り方

